

きょうから「96おかやま国際貢献NGOサミット」

岡山市構想本部を置く非政府組織(NGO)のAMDA(アジア医師連絡協議会)など(以下略)「国際貢献アジア岡山構想を推進する会」(略称・アジアの会)谷口登夫(会長)が二十三日から、岡山市を皮切りに「96おかやま国際貢献NGOサミット」を開く。三回目となった今回のテーマは「「おもいやるの心」を世界の人々とともに」。十七カ国から集まる二十五人のNGO代表と国内出席者が、国際貢献について意見を交わす。

17カ国から参加

「アジアの会」は県内の教育、宗教団体、ボランティアグループなどが集まって、三年前に結成された。AMDAは「相互理解、相互支援、相互信頼」をモットーに、一九八四年八月に設立された。代表は内科医菅波茂さん(四七)。会員は現在、国内に約千五百人、

医療援助を続けるAMDA 国外に17支部

海外に約二百人。これまで、クルド、チエチエンなどの難民救援活動や、インド、中国雲南省、サハリンの大震災で被災者支援などに駆け付けてきた。AMDAの菅波茂代表は「アジアの会の役割について、困ったときはお互いさまという相互扶助の精神に基づけば、政治も宗教も国境も越えられる」と話す。アジアの会の結成を呼びかけた世界各地で救援、地域開発活動を展開するAMDAの活動の一端を紹介する。

現在もモンゴル流域の洪水や旧ユーゴなどの難民のために救援活動をしており、約三十九カ国で約六十プロジェクトが継続中。医師や看護婦、現地で交際したる調整員約六十八人が活動している。

インド、カンボジア、スーダン、ブラジルなど七十七カ所に、現地の医師らでつくる支部をもち、アフリカに三つの地域事務所がある。国内では阪神大震災にも緊急救援をした。東京と大阪にも事務所を設け情報センターをもち、国内の職員は計四十五人。在外国の人へ医療相談も続けている。九五年に国連NGOに認定された。運営資金は会員の年会費、寄付など。今月中旬に発足した「AMDAアフリカ多国籍医師団」には外務省が財政支援をする。海外に出たいと考えている人への助言として、「自分何の出来るかを知ってから海外に出てほしい。現地にあれば撤退器具は無く、看護婦であっても来義指導を求められることもある。何もないところから、何が出来るかを見つけて力が必要」と話している。

心助的扶相互え越境国

「宗教NGOの組織づくりを」

「国際貢献」で岡山構想を推進する会

「国際貢献」で岡山構想を推進する会(略称・アジアの会)谷口登夫(会長)が二十三日から、岡山市を皮切りに「96おかやま国際貢献NGOサミット」を開く。三回目となった今回のテーマは「「おもいやるの心」を世界の人々とともに」。十七カ国から集まる二十五人のNGO代表と国内出席者が、国際貢献について意見を交わす。



中国雲南省での大震災発生後、現地に設置された診療所で診察する三宅医師たち=96年6月、AMDA提供

一般参加も

「96おかやま国際貢献NGOサミット」の主な日程は次の通り。一般参加も出来る。23日午後7時 開会式、公開講演会(菅波茂AMDA代表、タイのスラムで生活環境改善に取り組むボランティア・ワンタム・秦さんの講演)岡山国際

21年間に10カ国へ年数かけ住環境を

しても変わらない。自助努力するような方向の援助をしないといけない。診療したてでなく、住環境を変えたい。十年、二十年かけてやらないと変わらない。海外に出たきつかけについて、「日本以外、ほかの世界もある。現実はどうなっているのかを見たところ」と話す。一九七五年に海外青年協力隊の一員として、チニシアに三年滞在したのをはじめ、二十一年間でサイール、タイなど十カ国へ。「私自身もマリアアに回った。それでも、しんどさを感じたことはない」。海外に出たいと考えている人への助言として、「自分何の出来るかを知ってから海外に出てほしい。現地にあれば撤退器具は無く、看護婦であっても来義指導を求められることもある。何もないところから、何が出来るかを見つけて力が必要」と話している。

漫画にクルド語で予防医療教育

三宅和久さん(三)

以前から「医療」が満たされていない地域で働きたい。いつかは海外でも活動せよと考えている。AMDAでの初めての活動は一九九一年のイランのクルド難民救援。すでに欧米のNGOが入っており、手洗いの励みや子どもの下痢の対処など、予防医療教育を担当した。母親向けにVTRを上映



しよにも、女性が男性と同席しないイスラム文化圏では、なかなか人も集まらない。そこで、漫画(ま